



令和8年8月7日

北海道における宿泊旅行統計調査の結果をまとめました 令和7年・年間値（確定値）

- ・北海道運輸局では、観光庁が実施している「宿泊旅行統計調査」をもとに、北海道における宿泊旅行の動向について定期的に公表しています。このたび、令和7年・年間値（確定値）の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。
- ・なお、全国の調査結果については、観光庁ホームページをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/kankocho/tokei_hakusyo/shukuhakutokei.html（観光庁HP）

令和7年・年間値（確定値）の主な特徴（北海道）

〔延べ宿泊者数〕

4,650.4万人泊となり、令和6年（4,462.9万人泊）と比べ4.2%増、令和元年（3,698.3万人泊）と比べ25.7%増となり、過去最高を記録した。

国内宿泊需要は減少したものの、外国人宿泊需要の増加が全体を押し上げる結果となった。

都道府県別順位では東京都、大阪府に次ぐ全国第3位となった（令和6年：第3位）。

〔外国人延べ宿泊者数〕

1,330.3万人泊となり、令和6年（1031.2万人泊）と比べ29.0%増、令和元年（880.5万人泊）と比べ51.1%増となり、過去最高を記録した。

国際定期便数の増加や訪日旅行需要の高まりなどを背景として、外国人宿泊者数は引き続き増加したものとみられる。

都道府県別順位では全国第4位となった（令和6年：第4位）。

〔国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数順位〕

第1位は台湾（21.4%）、第2位は韓国（21.2%）、第3位は中国（17.8%）となった。

外国人宿泊者に占めるアジア市場の割合は81.9%となり、全国の59.0%を大きく上回った。

<問い合わせ先>

北海道運輸局観光部国際観光課 田尻・西村

TEL：011-290-2723

令和7年・年間値の集計結果

1. 延べ宿泊者数

【延べ宿泊者数】

- ・北海道は4,650.4万人泊。全国（6億6,110.5万人泊）の7.0%

【延べ宿泊者数の前年等比較】

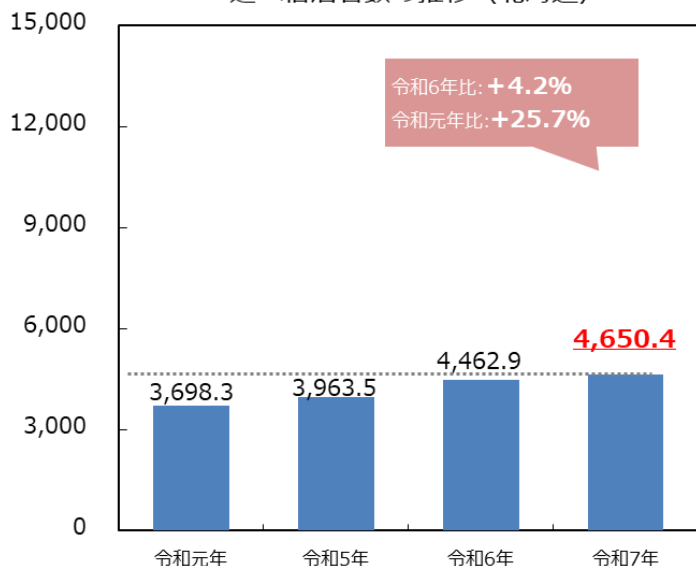
- ・北海道は令和6年（4,462.9万人泊）に比べ4.2%増、令和元年（3,698.3万人泊）に比べ25.7%増、全国は令和6年（6億5,906.5万人泊）に比べ0.3%増、令和元年（5億9,592.1万人泊）に比べ10.9%増となった。
- ・延べ宿泊者数は令和6年を上回り、過去最高を記録した。
- ・国際定期便数の増加等による航空アクセスの向上や、訪日旅行需要の高まりなどを背景として、外国人延べ宿泊者数が増加したものと思われる。

【都道府県別延べ宿泊者数】

- ・北海道は東京都、大阪府に次ぐ第3位となった（令和6年：第3位）。

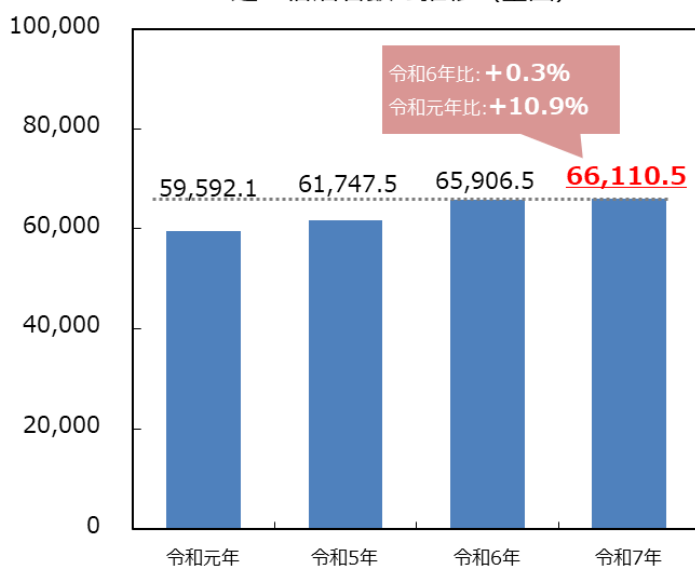
(単位：万人泊)

延べ宿泊者数の推移（北海道）



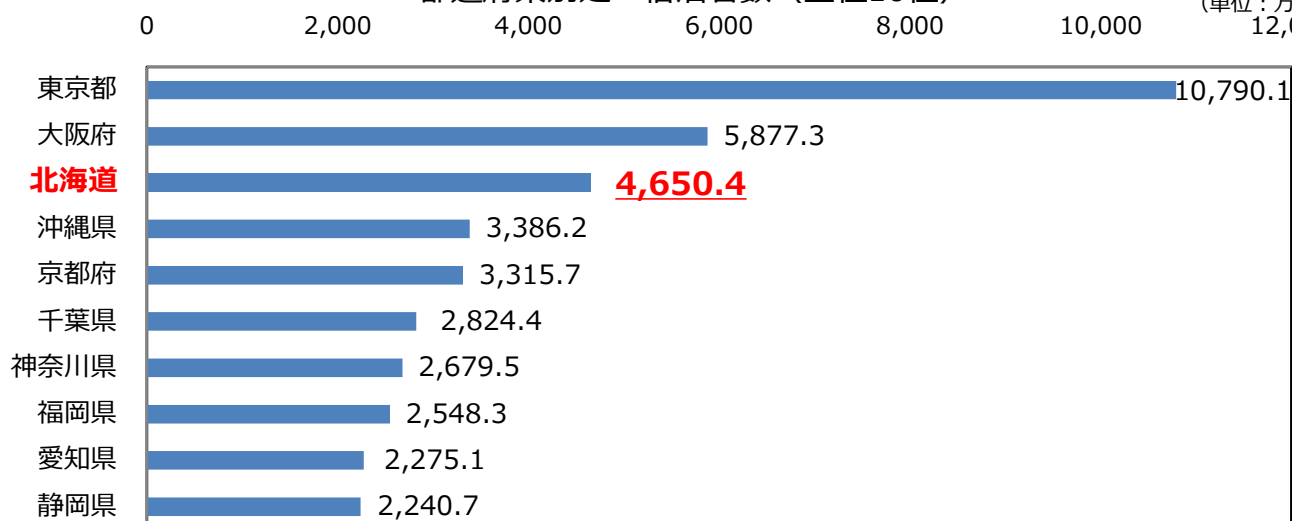
(単位：万人泊)

延べ宿泊者数の推移（全国）



都道府県別延べ宿泊者数（上位10位）

(単位：万人泊)



2. 外国人延べ宿泊者数

【外国人延べ宿泊者数】

- ・北海道は1,330.3万人泊。全国（1億7,992.2万人泊）の7.4%

【外国人延べ宿泊者数の前年等比較】

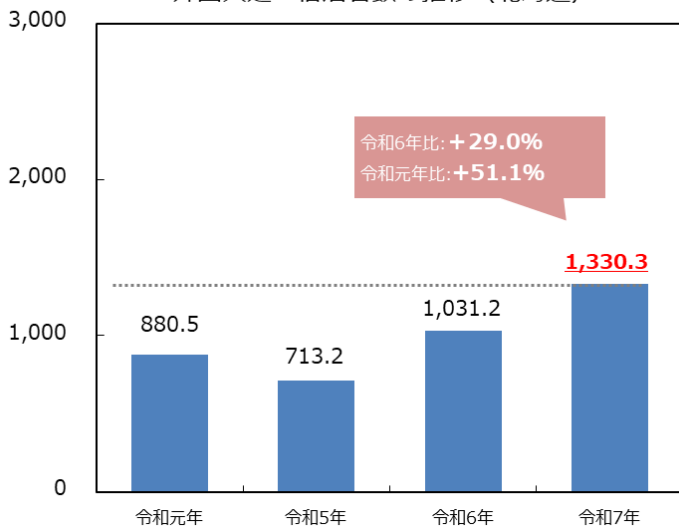
- ・北海道は令和6年（1,031.2万人泊）に比べ29.0%増、令和元年（880.5万人泊）に比べ51.1%増、全国は令和6年（1億6,446.3万人泊）に比べ9.4%増、令和元年（1億1,565.6万人泊）に比べ55.6%増となった。
- ・国際定期便数の増加や訪日旅行需要の高まりなどを背景として、令和6年を上回り過去最高を記録した。

【都道府県別外国人延べ宿泊者数】

- ・北海道は、東京都、大阪府、京都府に次ぐ第4位となった（令和6年：第4位）。

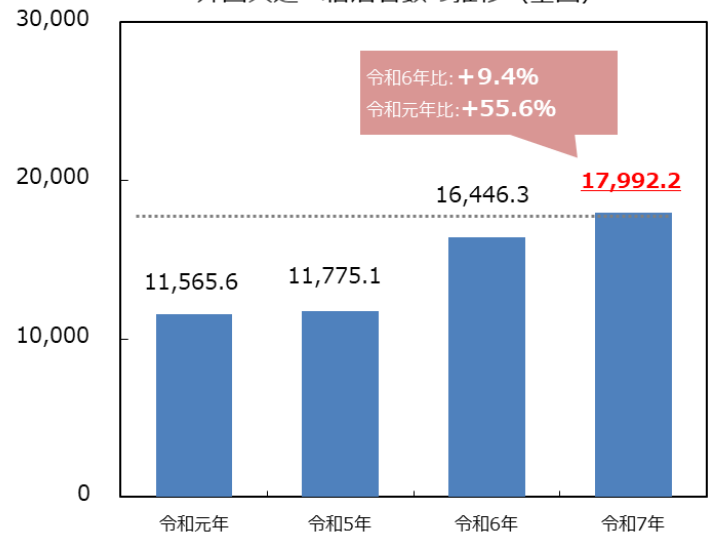
(単位：万人泊)

外国人延べ宿泊者数の推移（北海道）



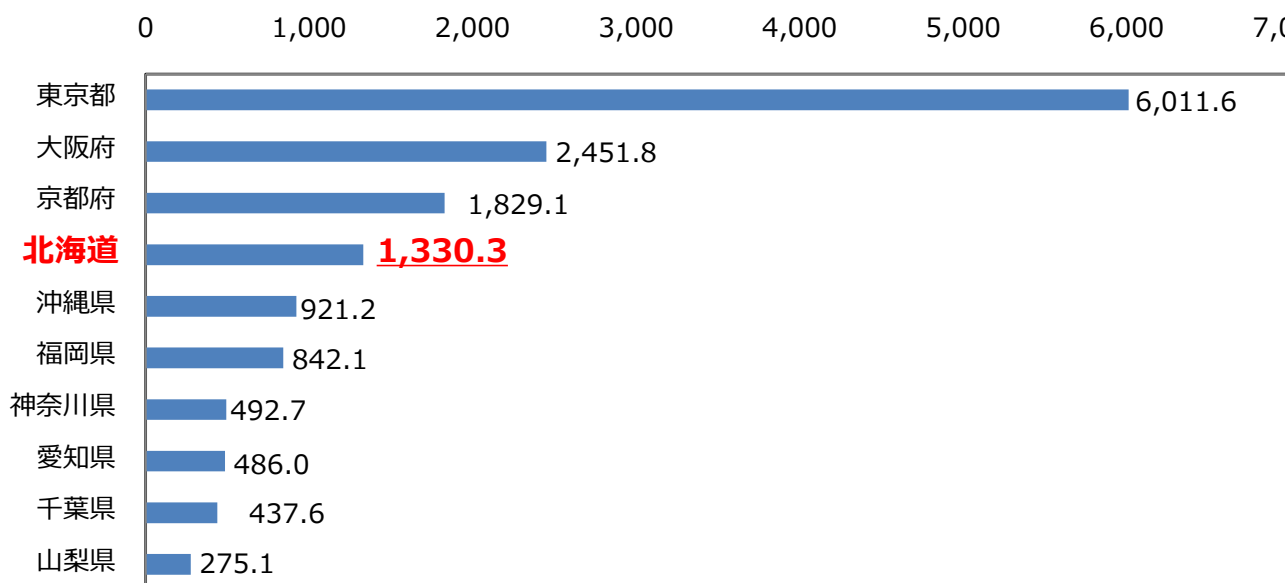
(単位：万人泊)

外国人延べ宿泊者数の推移（全国）



都道府県別外国人延べ宿泊者数（上位10位）

(単位：万人泊)



3. 道内・道外からの延べ宿泊者数

・道内からの延べ宿泊者数は1,473.1万人泊、道外（外国人を含む）からの延べ宿泊者数は3,034.8万人泊となった。

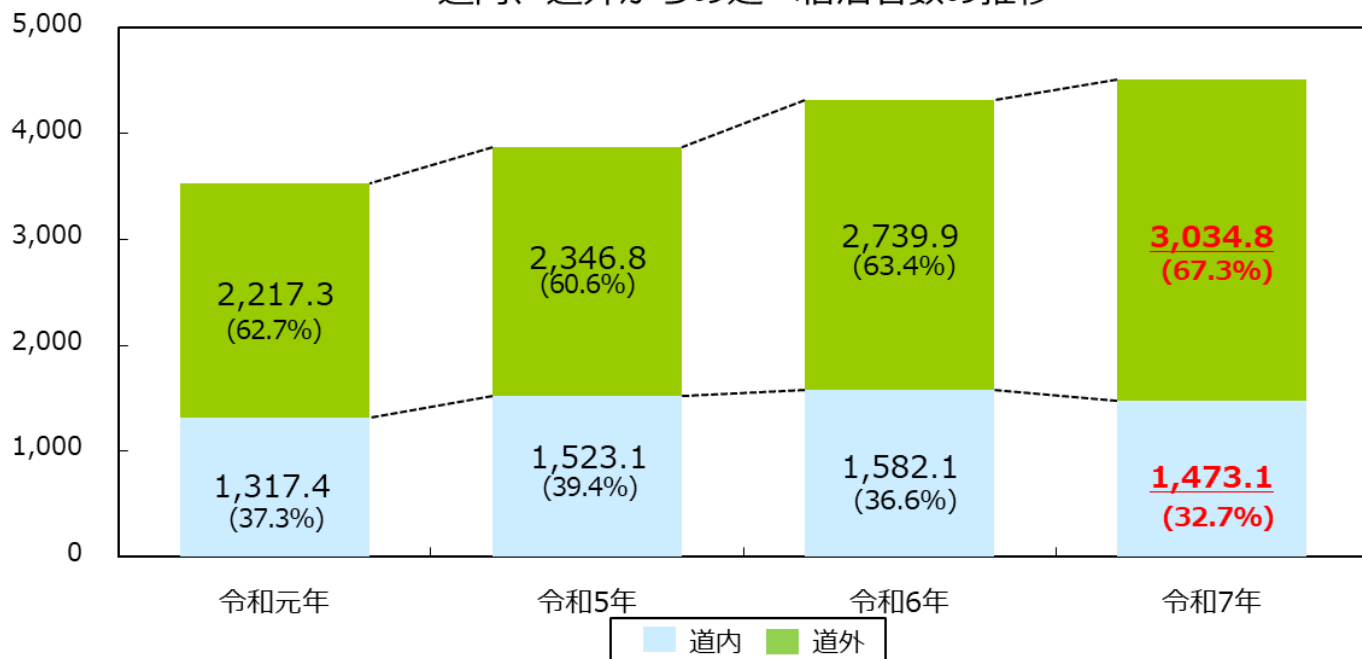
道内及び道外の延べ宿泊者数の割合は、道内32.7%、道外67.3%となった。

・道内は令和6年（1,582.1万人泊）に比べ6.9%減、令和元年（1,317.4万人泊）に比べ11.8%増となった。

・道外は令和6年（2,739.9万人泊）に比べ10.8%増、令和元年（2,217.3万人泊）に比べ36.9%増となった。

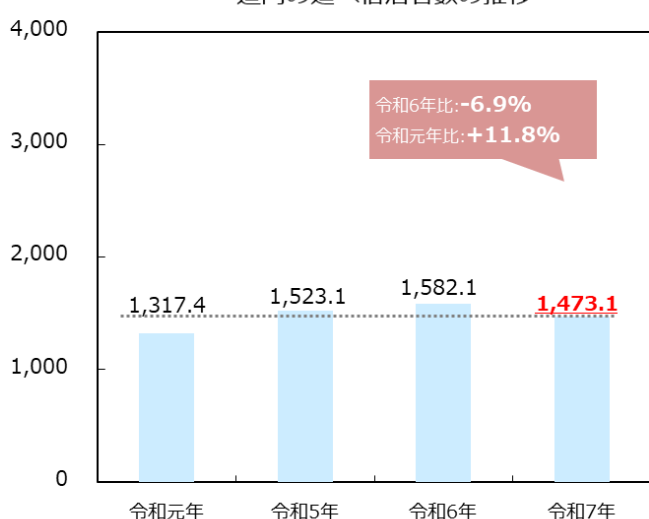
(単位：万人泊)

道内、道外からの延べ宿泊者数の推移



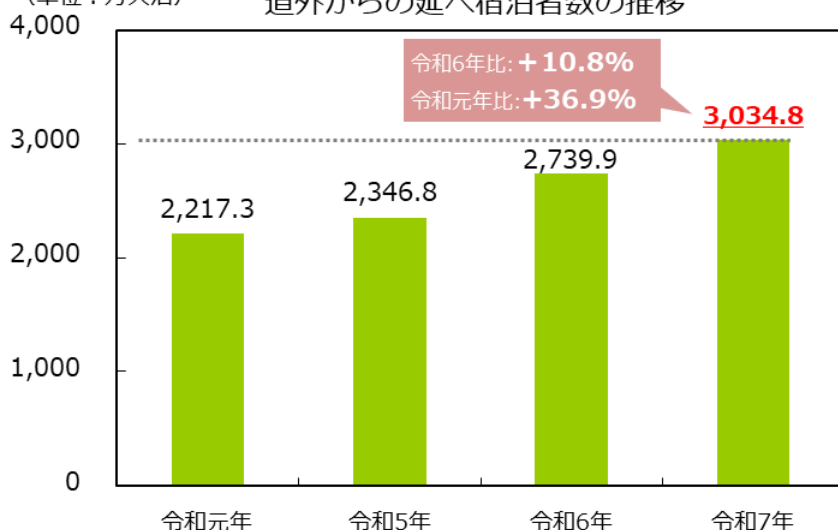
(単位：万人泊)

道内の延べ宿泊者数の推移



(単位：万人泊)

道外からの延べ宿泊者数の推移



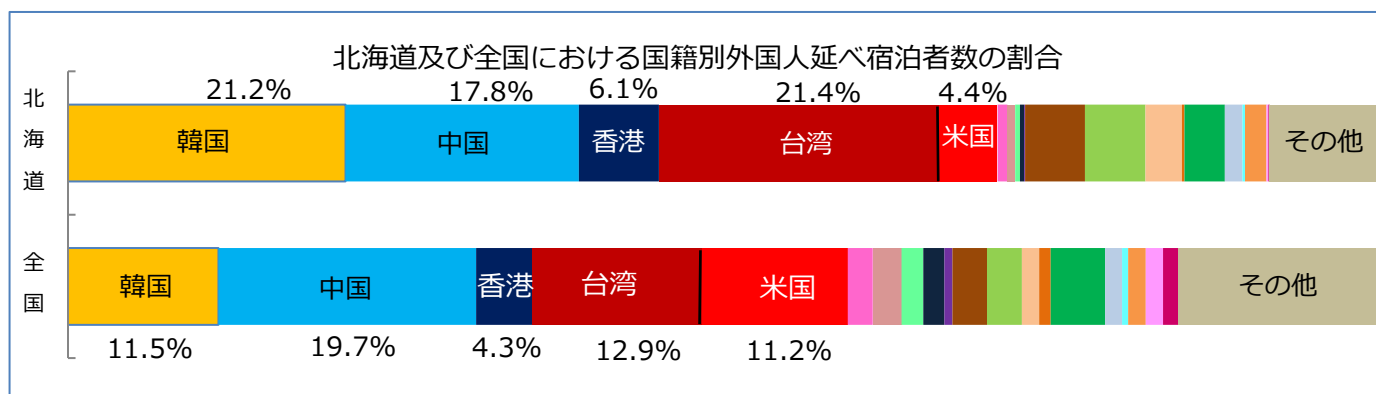
注：グラフの数値は居住地不詳者を除いているため、延べ宿泊者数の合計の数値と一致しない。

4. 国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数

- ・北海道は11,210,990人泊、全国は154,254,100人泊。国籍（出身地）別延べ宿泊者数をみると、北海道では第1位が台湾（21.4%）、第2位が韓国（21.2%）、第3位が中国（17.8%）となった。全国では第1位が中国（19.7%）、第2位が台湾（12.9%）、第3位が韓国（11.5%）となった。
- ・外国人延べ宿泊者数に占めるアジアの割合は、北海道が81.9%、全国が59.0%となり、北海道は全国を22.9ポイント上回った。

順位	国籍 (出身地)	北海道	
		(人泊)	シェア
1	台湾	2,403,820	21.4%
2	韓国	2,375,680	21.2%
3	中国	1,999,740	17.8%
4	香港	683,620	6.1%
5	タイ	518,830	4.6%
6	シンガポール	511,490	4.6%
7	米国	496,260	4.4%
8	オーストラリア	345,920	3.1%
9	マレーシア	310,210	2.8%
10	フィリピン	183,720	1.6%
11	インドネシア	150,370	1.3%
12	カナダ	84,820	0.8%
13	英国	66,230	0.6%
14	ドイツ	40,580	0.4%
15	フランス	36,640	0.3%
16	インド	23,440	0.2%
17	ベトナム	22,020	0.2%
18	イタリア	16,500	0.1%
19	スペイン	11,350	0.1%
20	ロシア	9,760	0.1%
	その他	663,230	5.9%
	国籍不詳	256,760	2.3%
合計		11,210,990	100.0%

順位	国籍 (出身地)	全国	
		(人泊)	シェア
1	中国	30,357,910	19.7%
2	台湾	19,971,870	12.9%
3	韓国	17,731,300	11.5%
4	米国	17,217,950	11.2%
5	香港	6,599,860	4.3%
6	オーストラリア	6,396,210	4.1%
7	タイ	4,103,540	2.7%
8	シンガポール	4,075,800	2.6%
9	英国	3,400,260	2.2%
10	カナダ	2,940,140	1.9%
11	ドイツ	2,546,830	1.7%
12	フランス	2,501,180	1.6%
13	フィリピン	2,084,890	1.4%
14	マレーシア	2,033,330	1.3%
15	イタリア	2,026,060	1.3%
16	インドネシア	2,011,230	1.3%
17	スペイン	1,816,150	1.2%
18	インド	1,367,260	0.9%
19	ロシア	951,000	0.6%
20	ベトナム	707,470	0.5%
	その他	17,654,100	11.4%
	国籍不詳	5,759,760	3.7%
合計		154,254,100	100.0%



※国籍別に関する項目については、従業者数10人以上の施設に対する調査から集計しているため、国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は外国人延べ宿泊者数の数値と一致しない。

※北海道及び全国における国籍別外国人延べ宿泊者数の割合のその他は国籍不詳も含まれている。

5. 北海道における国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数の推移

- ・国籍（出身地）別にみると、韓国237.6万人泊、台湾240.4万人泊などで過去最多となった。
- ・令和6年と比較して全ての国籍で増加した。その中でも特にフィリピンは前年比60.1%増と主要市場の中で高い伸びを示した。
- ・令和元年と比較して、韓国（113.6%増）、台湾（70.4%増）、アメリカ（136.4%増）などが増加した。一方で、中国（7.6%減）、香港（7.0%減）、タイ（6.1%減）、ロシア（64.9%減）は減少した。
- ・韓国、台湾路線を中心とした国際定期便数がコロナ禍前の水準に回復していることや、訪日旅行需要の高まりなどが要因として考えられる。

（単位：人泊）

国籍（出身地）	令和元年	令和6年	令和7年	令和元年比	令和6年比
台湾	1,410,420	2,006,690	2,403,820	+70.4%	+19.8%
韓国	1,111,980	2,135,780	2,375,680	+113.6%	+11.2%
中国	2,164,320	1,279,600	1,999,740	-7.6%	+56.3%
香港	734,710	676,920	683,620	-7.0%	+1.0%
タイ	552,770	492,810	518,830	-6.1%	+5.3%
シンガポール	364,760	446,390	511,490	+40.2%	+14.6%
米国	209,930	370,280	496,260	+136.4%	+34.0%
オーストラリア	230,850	234,000	345,920	+49.8%	+47.8%
マレーシア	242,490	225,970	310,210	+27.9%	+37.3%
フィリピン	90,770	114,770	183,720	+102.4%	+60.1%
インドネシア	104,620	115,050	150,370	+43.7%	+30.7%
カナダ	30,890	57,560	84,820	+174.6%	+47.4%
英国	47,400	51,750	66,230	+39.7%	+28.0%
ドイツ	17,610	27,630	40,580	+130.4%	+46.9%
フランス	16,840	28,050	36,640	+117.6%	+30.6%
インド	8,140	16,680	23,440	+188.0%	+40.5%
ベトナム	13,060	16,740	22,020	+68.6%	+31.5%
イタリア	5,550	10,500	16,500	+197.3%	+57.1%
スペイン	5,060	7,820	11,350	+124.3%	+45.1%
ロシア	27,800	6,700	9,760	-64.9%	+45.7%
その他	391,710	606,400	663,230	+69.3%	+9.4%
国籍不祥	194,070	358,860	256,760	+32.3%	-28.5%
合計	7,975,750	9,286,950	11,210,990	+40.6%	+20.7%

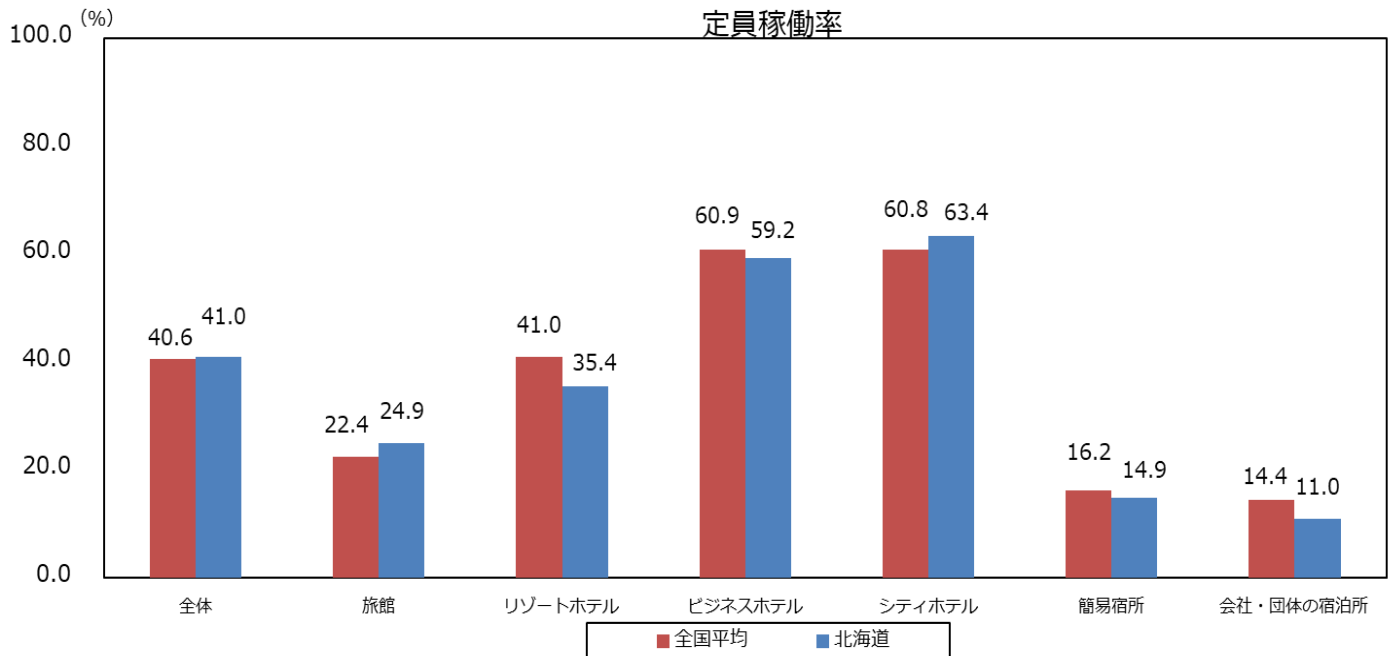
※国籍別に関する項目については、従業者数10人以上の施設に対する調査から集計しているため、国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は外国人延べ宿泊者数の数値と一致しない。

※国籍別延べ宿泊者数の合計値は、国籍不詳を含んでいる。

6. 定員稼働率及び客室稼働率

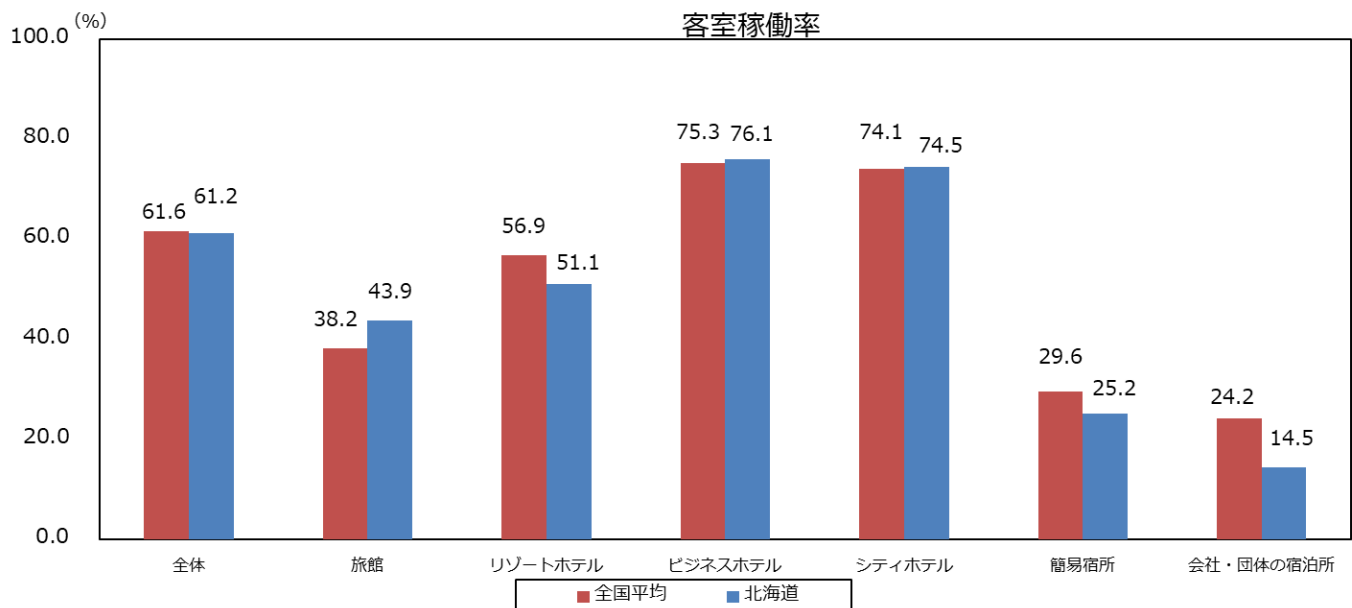
【定員稼働率】

- ・北海道の定員稼働率（全体）は41.0%となり、全国平均（40.6%）と同程度の水準となった。
- ・施設タイプ別では、旅館、シティホテルにおいて全国平均を上回った。



【客室稼働率】

- ・北海道の客室稼働率（全体）は61.2%となり、全国平均（61.6%）と同程度の水準となった。
- ・施設タイプ別では、旅館、ビジネスホテル、シティホテルにおいて全国平均を上回った。

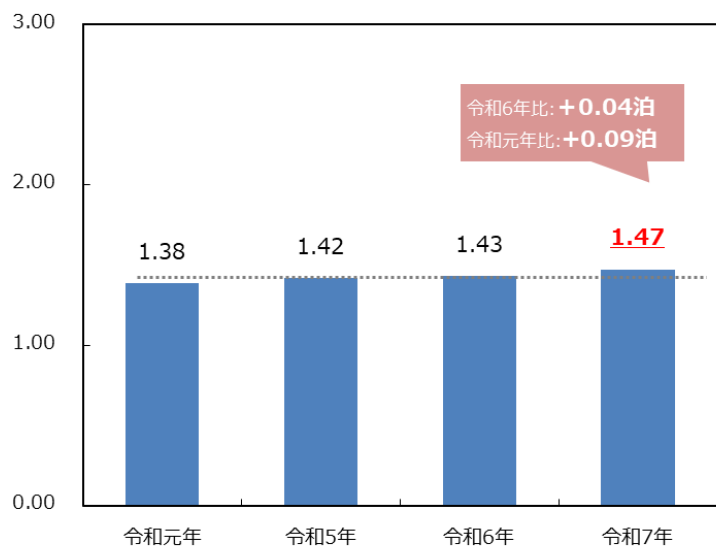


7. 宿泊施設における1人当たり平均宿泊数

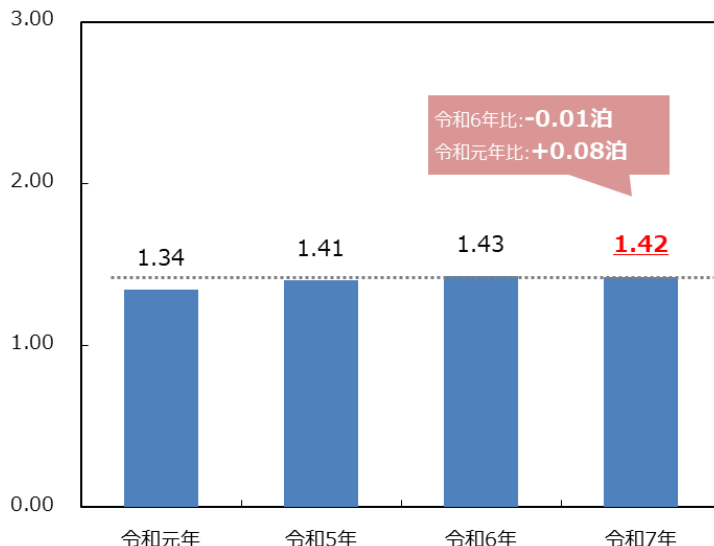
- ・ 宿泊施設における1人当たり平均宿泊数は、北海道が1.47泊、全国平均が1.42泊となった。
- ・ 北海道は令和6年（1.43泊）に比べ0.04泊増、令和元年（1.38泊）に比べ0.09泊増となった。
- ・ 全国は令和6年（1.43泊）に比べ0.01泊減、令和元年（1.34泊）に比べ0.08泊増となった。

(単位：泊)

1人当たり平均宿泊数（北海道）



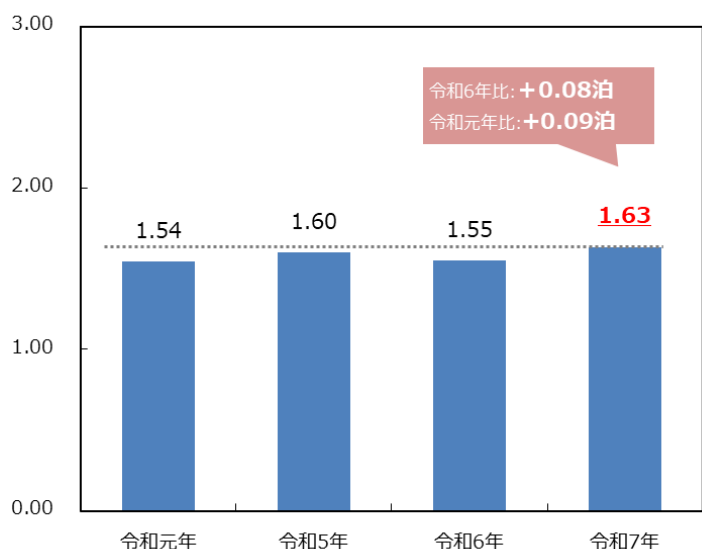
1人当たり平均宿泊数（全国）



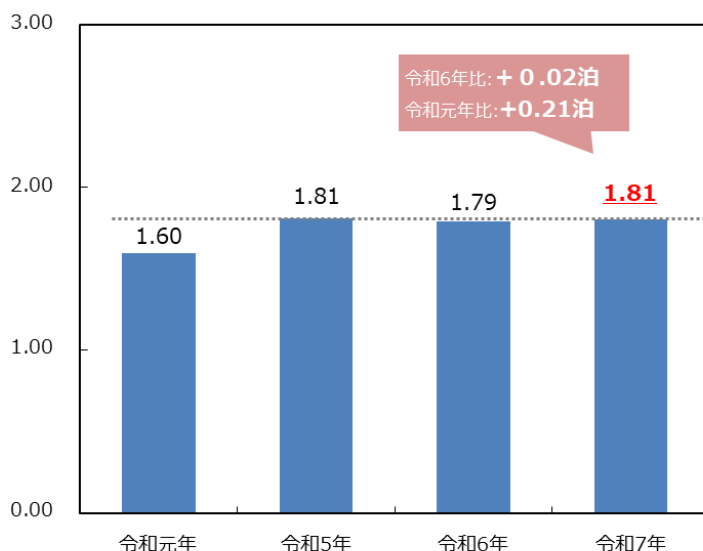
- ・ 宿泊施設における外国人1人当たり平均宿泊数は、北海道が1.63泊、全国平均が1.81泊となった。
- ・ 北海道は令和6年（1.55泊）に比べ0.08泊増、令和元年（1.54泊）に比べ0.09泊増となった。
- ・ 全国は令和6年（1.79泊）に比べ0.02泊増、令和元年（1.60泊）に比べ0.21泊増となった。

(単位：泊)

外国人1人当たり平均宿泊数（北海道）



外国人1人当たり平均宿泊数（全国）



宿泊旅行統計調査の活用における留意点

平成22年第2四半期(4～6月調査)から、従業者数10人未満の施設も調査対象となりました。

調査結果をご活用の際はご注意ください。

● 遡及推計(確定値)とは

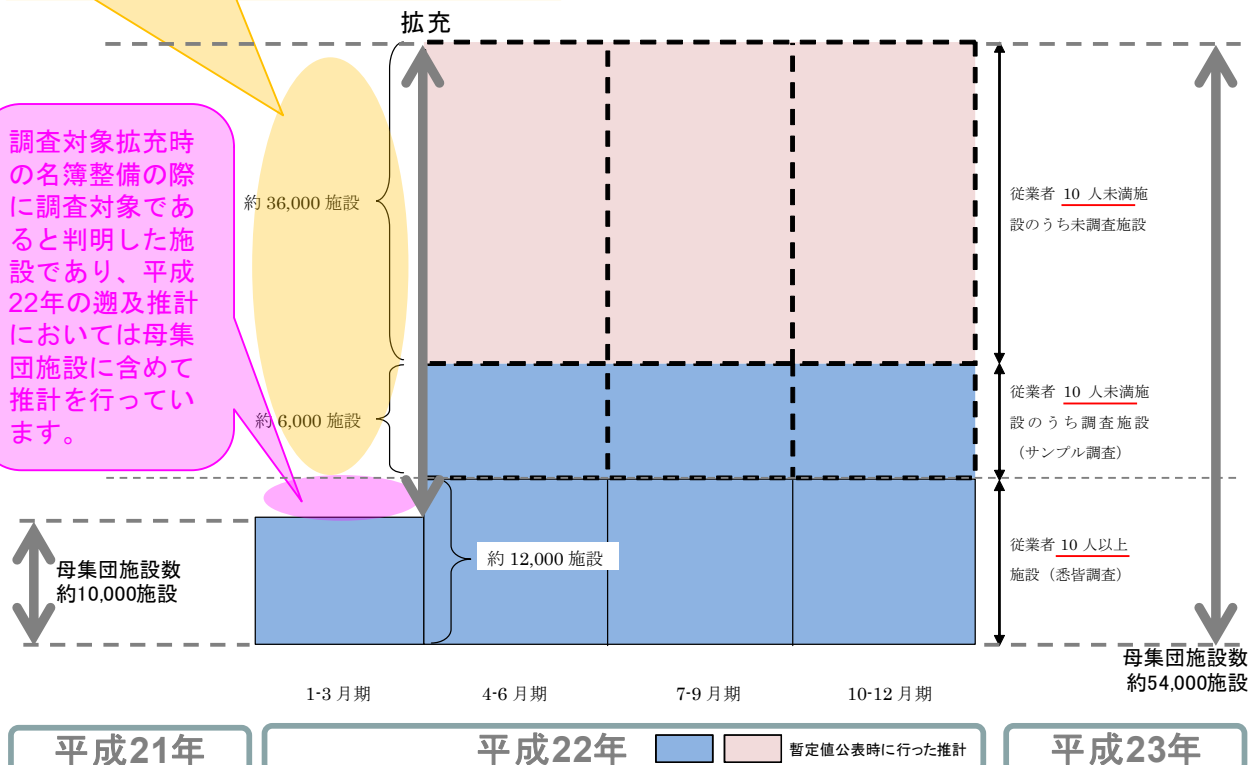
・1月1日現在の施設数を母集団施設数として1年間固定させ推計を行う四半期毎公表の暫定値とは違い、月毎の開業・廃業等を反映させた月毎の母集団施設数を基に推計を行ったものが遡及推計(確定値)です。

● 平成22年遡及推計の特徴

・平成22年第2四半期調査より調査対象を拡充しており、基本とする母集団施設数は拡充後の第2四半期のものです。また、第1四半期には調査対象外であった従業者数10人未満の宿泊施設等についての数値は一部参考値以外は推計を行っておりません。経年比較等する場合には、従業者区分等にご注意下さい。

遡及推計概要図

遡及推計においても推計を行っていません。



調査対象拡充の概要

1. 平成22年第1四半期以前の調査

(1) 調査対象施設: 平成16年度事業所・企業データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

(2) 集計結果: 全国の従業者数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

2. 平成22年第2四半期以降の調査

(1) 調査対象施設: 統計法第27条に規定する事業所母集団データベース(総務省)を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業者数に応じて以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所 : 全数(悉皆)調査
- 従業者数5人～9人の事業所 : 1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所 : 1/9を無作為に抽出してサンプル調査

(2) 集計結果: 全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値